

平成 25 年 11 月 14 日

各 位

株式会社 USEN

管理職は、雑談を有効活用するなどして、コミュニケーションに、より積極的
管理職とコミュニケーションの相関関係が浮き彫りに
—職場のコミュニケーションについての調査—

URL : <http://sound-design.usen.com/>

株式会社 USEN（東京都港区、代表取締役社長 CEO：中村史朗、以下 USEN）は展開している法人向け音楽放送サービス『Sound Design for OFFICE (SDO)』の役割を認識するため、20代～50代のオフィスワーカー男女計 335 人に、職場環境におけるコミュニケーションについて、アンケート調査を実施致しました。

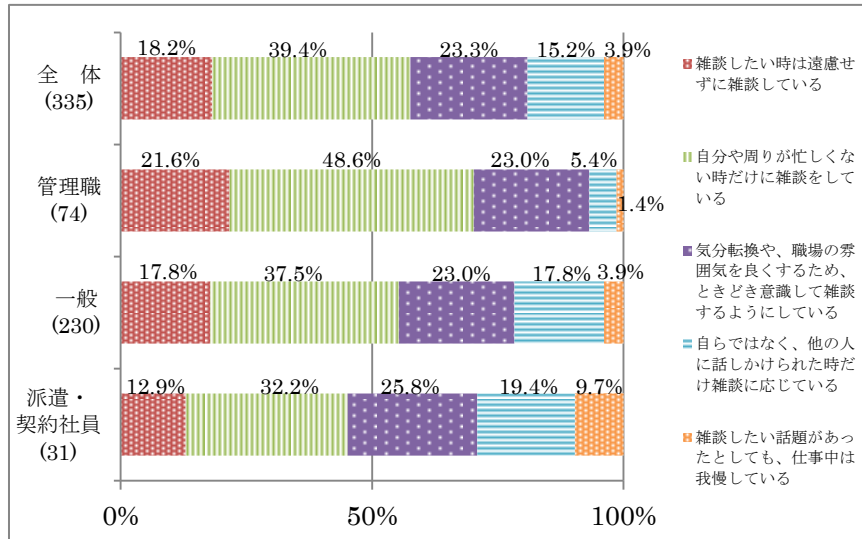
その結果、回答した管理職の 5 人に 1 人が「雑談したい時は、遠慮せずに雑談している」と回答していた一方で派遣・契約社員の 10 人に 1 人が「雑談したくても仕事中は我慢している」と回答しました。管理職のほうが、コミュニケーション上、雑談を有効活用していることが明らかになりました。

【結果概要】

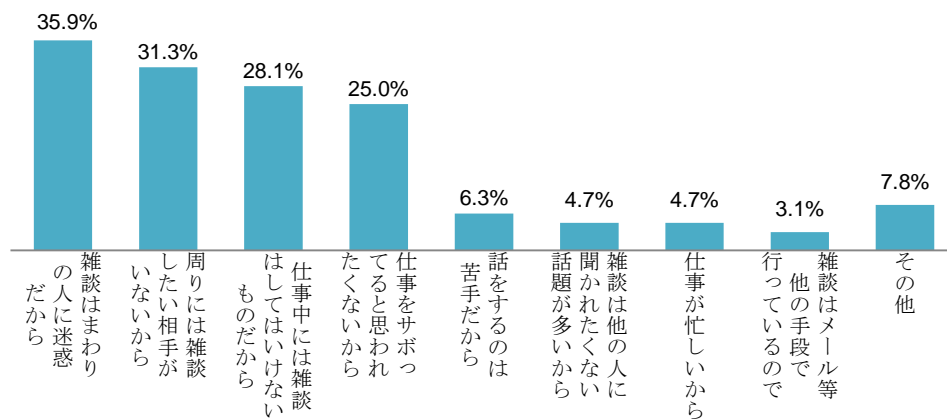
- 工作中に雑談するか聞いたところ、約 5 人に 1 人（18.2%）が「雑談したい時は、遠慮せずに、雑談している」と回答。管理職では「遠慮せず雑談している」と「自分や周りが忙しくない時だけに雑談している」を合わせると 70.2%となり、一般社員や派遣社員と比べ、高い割合で、工作中に雑談をしていることが分かりました。（参照：Q1 の図）
- 雑談に消極的と回答した人の理由としては、「まわりの人に迷惑だから（35.9%）」が一番多く、次いで「周りに雑談したい人がいないから（31.3%）」となりました（参照：Q2 の図）
- 仕事の報告や相談は、大半の人（84.8%）が主に口頭で行い、14.3%が主にメールで行っていました。（参照：Q3 の図）
- 仕事の報告や相談を主にメールで行う人の理由は、「報告のタイミングが合わないから（68.8%）」が最も多く、次いで「メールの方が上手く伝えられるから（25.0%）」となりました。（参照：Q4 の図）
- 仕事の報告や相談を口頭で伝えないことにより、発生しそうな弊害については、「仕事が遅れがちになる（56.7%）」、「ミスリーディングのまま仕事が進んでしまう（44.5%）」という回答が多く業務へのマイナス影響が出てしまうことを心配する回答が上位を占めました。（参照：Q5 の図）
- 入社時、及び退社時の挨拶に関しては、「積極的に自ら」挨拶をしているとの回答が全体の 46.9%（入社時）、45.7%（退社時）を占めました。また、特に管理職に関しては、「積極的に自ら」挨拶をしているとの回答は 55.4%（入社時）、56.8%（退社時）となり、管理職からより多く積極的にコミュニケーションを取っていることが分かりました。（参照：Q6 図、Q7 図）

【参考資料】 なお、詳細の調査結果については、下記にてご紹介しております。

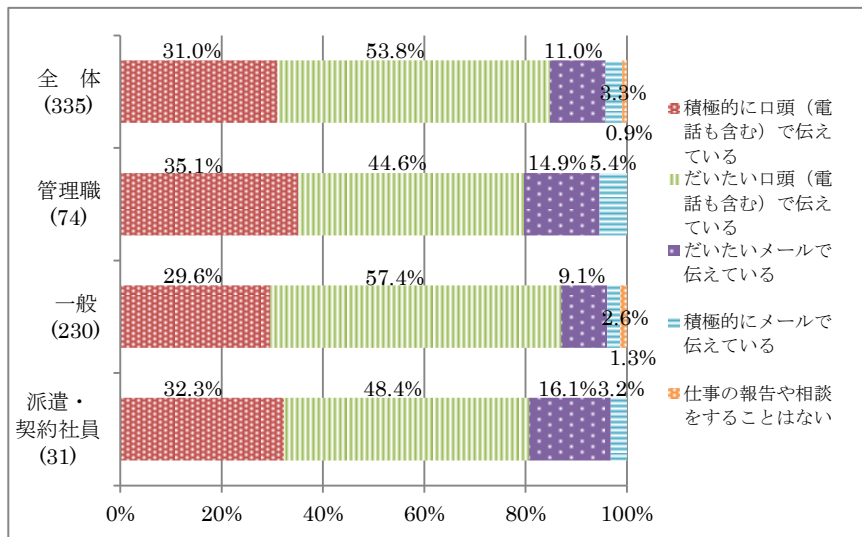
Q1：あなたは、工作中に雑談（仕事以外の内容の会話を口頭で）をすることはありますか？
最も近いものを選んで下さい。（N=335）



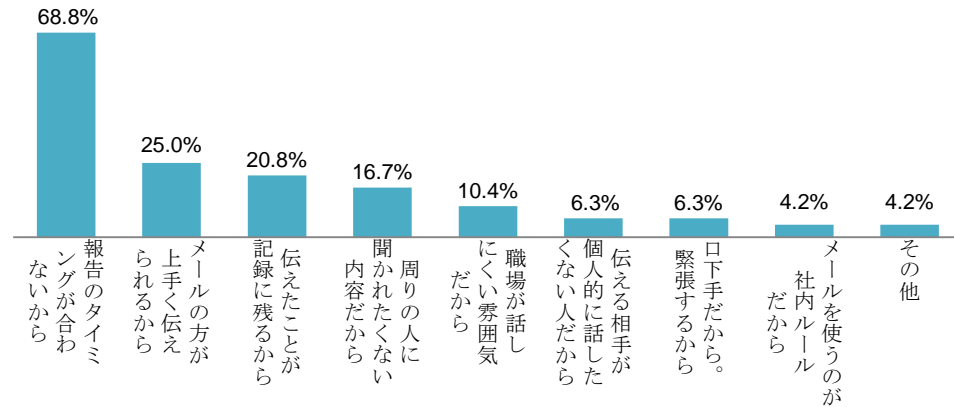
Q2：前問で「自ら雑談をしない」「雑談は行わない」と回答された理由を教えてください。（N=64、複数回答）



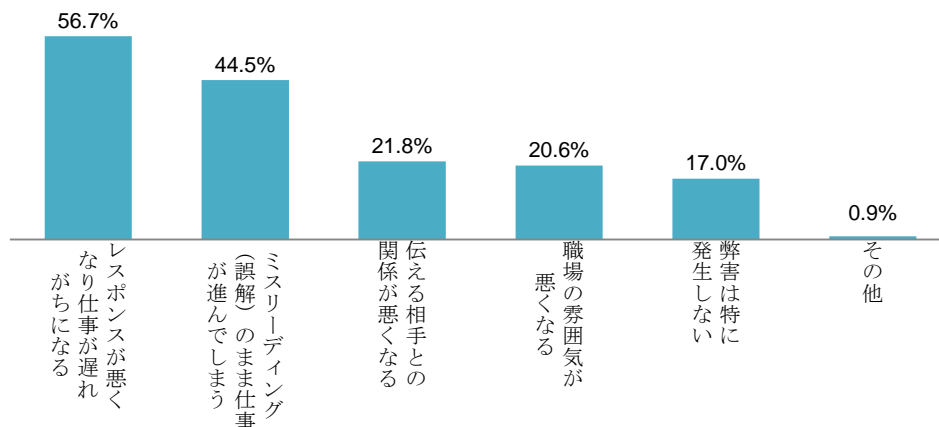
Q3：あなたは、仕事の報告や相談をどのように行っていますか？（N=335）



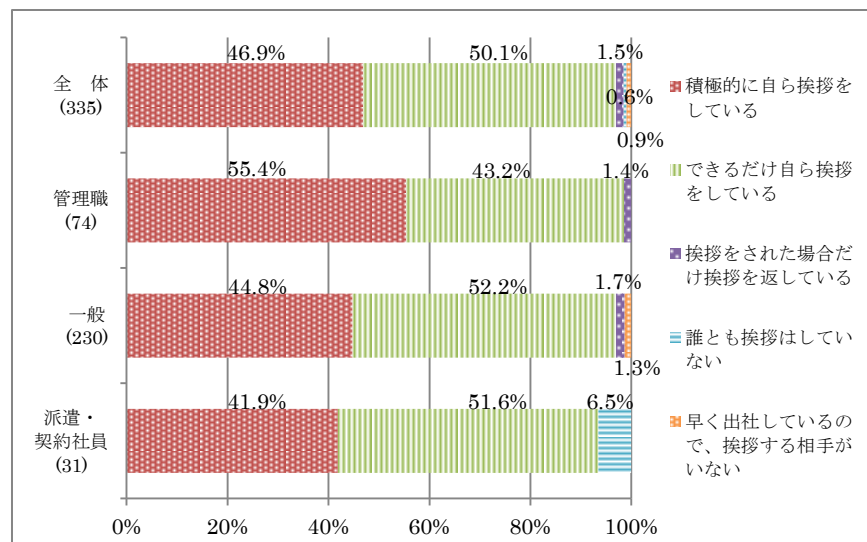
Q4：前問で、仕事の報告や相談を「だいたいメールで伝えている」、「積極的にメールで伝えている」を選んだ方にお聞きます。あなたが仕事の報告や相談をメールで伝えている理由をすべて選んで下さい。(N=48、複数回答)



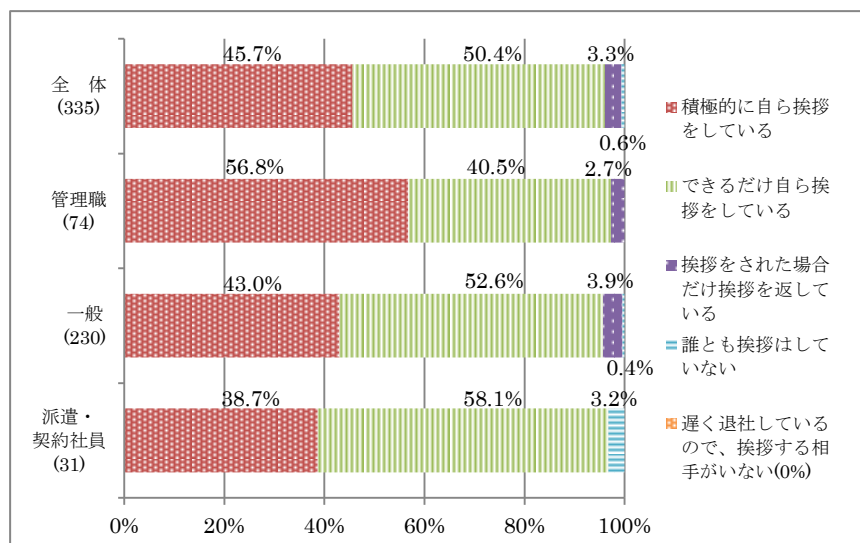
Q5：仕事の報告や相談を口頭（電話を含む）で伝えないことにより、どのような弊害が発生する可能性があると思いますか？(N=335、複数回答)



Q6：あなたが出社する時の挨拶について、普段あなたが職場の人達に対して行っていることを選んで下さい。(N=335)



Q7：あなたが退社する時の挨拶について、普段あなたが職場の人達に対して行っていることを選んで下さい。(N=335)



◇広報見解

今回のアンケートでは、多くのオフィスワーカーが、積極的にリアルなコミュニケーションをとろうとしている様子が窺えました。管理職など組織内での地位が高くなればなるほど、雑談などを有効活用してコミュニケーションをとることも、現在のオフィスデザインに欠かせないものとなっています。本調査では、改めてコミュニケーションの重要性を認識できましたので、今後も USEN では、職場での様々な同様の調査を通じて、オフィスのコミュニケーション活性化につながる音楽の研究、開発をすすめてまいります。

【アンケート調査概要】

調査方法：インターネットによるアンケート調査

調査期間：2013年10月8日～10日

調査対象：20～59歳の会社員、公務員、派遣・契約社員のいずれかで、5人以上の職場で働いているオフィスワーカー、

調査規模：20代=84人、30代=84人、40代=84人、50代=83人、合計=335人

【これまでのアンケート調査結果】

『工作中5人に1人が「マイ音楽」で「集中」、同僚の約半数は「不快」
— 仕事中に個人で音楽を聴くことに関する調査—』

http://www.usen.com/cms_data/newsrelease/pdf/2013/20130710_1008.pdf

『半数以上が「職場が静かすぎて居心地が悪い」と感じ、最も気になる音は「話し声」
— 職場の「音環境」調査—』

http://www.usen.com/cms_data/newsrelease/pdf/2013/20130724_1010.pdf

『BGMが流れている職場は約2割、ノー残業デーの定時退社対策には約5割が
「帰宅を促すアナウンス」が有効と回答 — 職場とBGMについての調査—』

http://www.usen.com/cms_data/newsrelease/pdf/2013/20130801_1012.pdf

【株式会社 USEN について】 <http://www.usen.com/index.html>

昭和36年の創業以来52年にわたり全国にBGMを提供。国内No.1シェアをバックボーンとして培った戦略的なBGM活用のノウハウと、音楽療法や産業医など専門家によるエビデンスを基に、職場でのBGM「Sound Design for OFFICE ～働く人のメンタルバランス・ミュージック～」を今年2月に発表。

Sound Design for OFFICE 公式サイト：<http://sound-design.usen.com/>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】
株式会社 USEN 広報担当 清水さやか
TEL：03-6823-7012 FAX：03-6741-4613
E-mail：public-relations@usen.co.jp